

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第39週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

## 方法等

### 対象期間

令和4年 第39週分 9月26日～10月2日公表分

### 症例定義

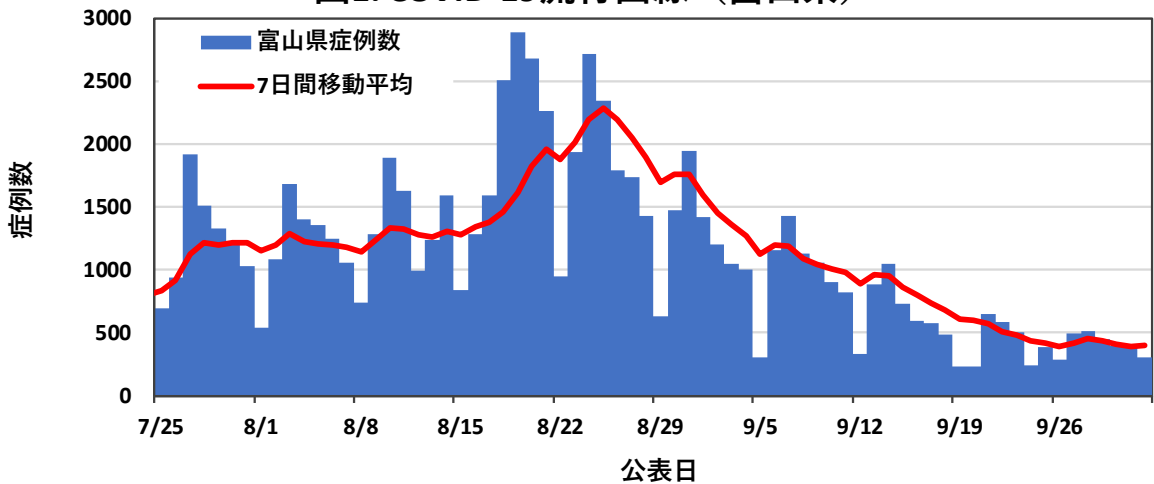
富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において  
上記期間に富山県内で報告された症例  
→ 2,826例

### 情報源

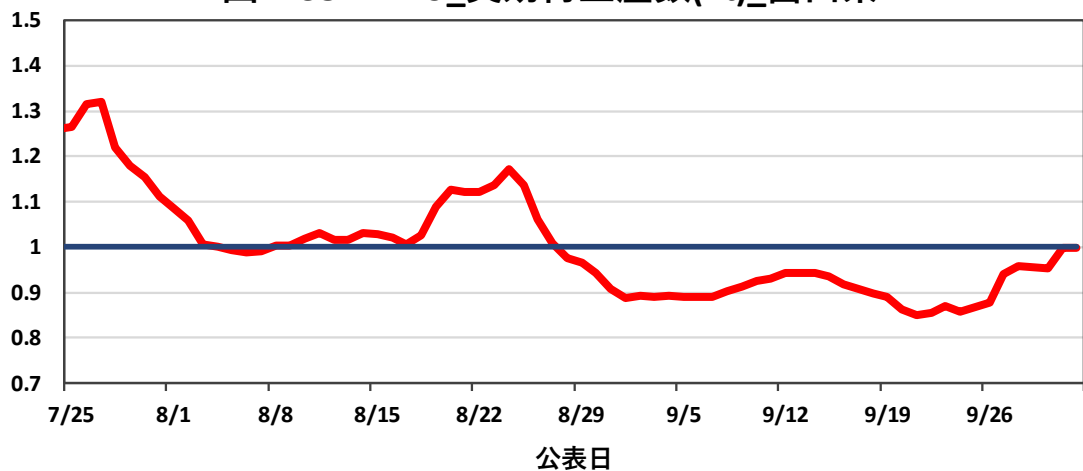
富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

### 図1. COVID-19流行曲線（富山県）



### 図2. COVID-19\_実効再生産数(Rt)\_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$   
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、39週）

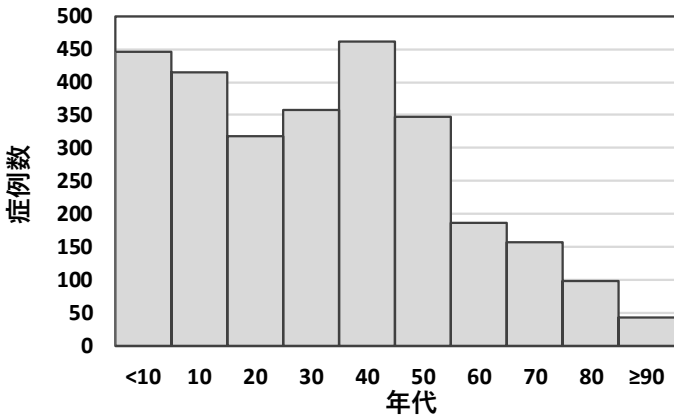


図4. COVID-19年代別割合（富山県、39週）

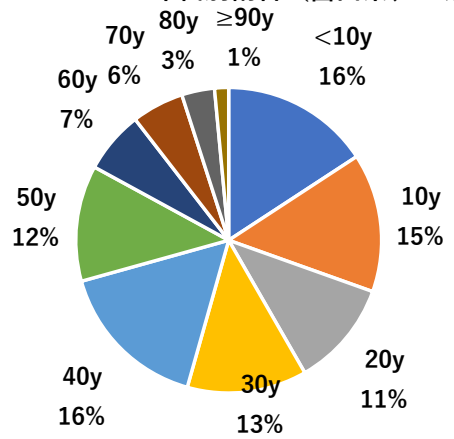


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

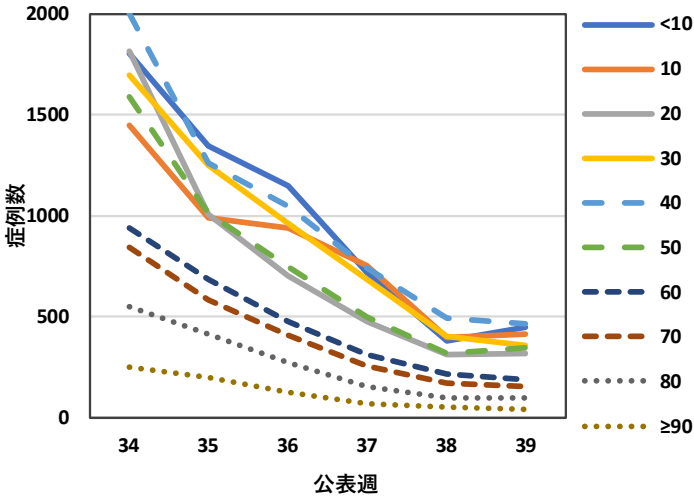
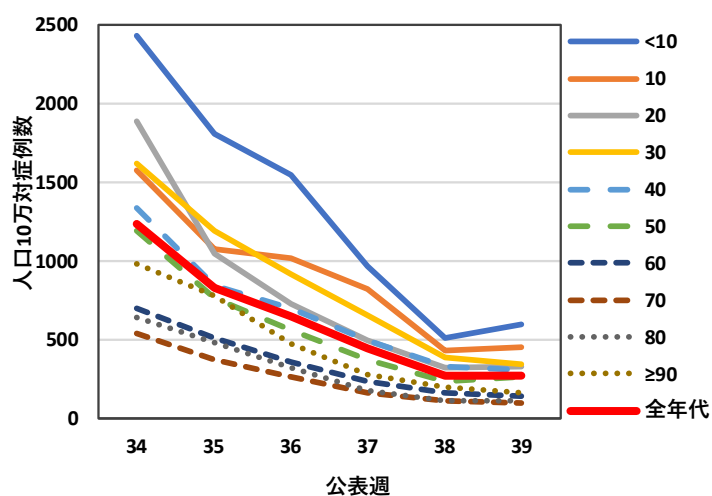


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



## 10月2日時点の所見と考察

- 第39週の新規報告数は、2,826例。先週2,829例と同等であり、減少傾向に鈍化がみられた。
- 実効再生産数（図2）は、9/26以降上昇傾向にあり、10/2時点で1.0であった。
- 第39週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。40歳代（461例、16%）が最も多く、次いで10歳未満（446例、16%）、10歳代（415例、15%）であり、10歳未満の割合が先週（13%）から増加した。60歳以上の割合は17%（482例）で、先週（20%）より減少した。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。減少傾向が鈍化し、年代によっては横ばいからやや増加がみられた。